

湯前小学校 校長室だより		令和4年 11月25日 第10号 文責 吉村 和仁
---------------------	--	------------------------------------

○多様性を受けとめる、受け入れるということ

現在、湯前小学校は人権週間として、各学年で人権についての学習や集会などを行っています。人権学習では、「自分と同じように他の人も大切にすること、尊重すること」を学んでいきます。

「自分を大切にすること」ということを、児童に実感させるのは難しいところがあります。成長の段階として自我が確立していないため、自分を大切にすることとは、どうすることなのかわからないことが多いのです。だから、周りの大人が子どもを大切にしてくれることが重要になってきます。自分が大切にされていると感じることが、自分を大切にすることへつながっていくものと思います。

「他の人を大切にすること」ということは、仲の良い友だちを大切にすることだけにはとどまりません。自分の考え方や習慣、言葉、服装など、自分と違う人がいることを認め、受け入れることができなければなりません。

以前、ある学校で「緑の少年団」の担当をしていたことがあります。夏休みに、開催されていた県の交流集会が、実に画期的な取組をされていました。

グループごとに分かれ2泊3日のキャンプをするのですが、そのグループが別々の学校、学年で構成されているのです。第1日目の夜には、帰りたくないと泣き出したり、体調不良を訴えたりする子どもが出てきます。ところが、3日目になると、「帰りたくない。」という子どもたちがたくさん出てきます。

多様性の中に無理やりにも子どもを放り込むことは、時には必要なことかもしれませんが、お互いに分かり合おうとしないと、何もできないし、何も解決できないからです。全国大会が阿蘇で行われたときは、都道府県の子どもが入り混じったグループ構成でした。私が担当したグループは、3日目にはみんな関西弁になっていたという楽しい思い出があります。

さて、この人権週間で、子どもたちはどのような学びをしてくれるでしょうか。

○持久走大会へのご協力、ご声援をいただきありがとうございました

持久走大会を延期したことで、保護者や地域の皆様には、いろいろとご迷惑をおかけしました。延期の判断が遅くなりましたこともお詫び申し上げます。

21日(月)には天候にも恵まれ、子どもたちは自分の力を出し切って頑張ってくれました。これも、皆様のご協力とご声援のおかげだと感謝しております。また、2年、6年のPTA学年行事もお世話になりました。

5年生が育てたもち米を脱穀していただき、学校に届けていただきました。今後、販売する予定ですので改めてお知らせします。なお、JAの皆様には全般にわたってご協力いただきました。ありがとうございました。